

臨床研究に関するお知らせ

宮崎大学医学部病理学講座構造機能病態学分野では、下記の臨床研究を実施しています。皆様には本研究の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

研究課題名：動静脈血栓症の病理所見の相違

1. 研究の概要

心筋梗塞や静脈血栓症などは血栓形成により発症する循環障害です。心筋梗塞は冠動脈の中の動脈硬化巣が血栓（血液の塊）により閉塞することで血液が流れなくなり、心筋が壊死してしまう病気です。一方、静脈血栓塞栓症は主に下肢の深部静脈内に形成され大きく成長した血栓が遊離し肺動脈を閉塞させることにより発症します。しかしながら、これまでに動静脈血栓の組成を比較した研究は少なく、その相違は明確ではありません。本研究では動脈・静脈血栓の病理標本を用いて、時相ごとの血栓の組成や構成成分を検討します。血栓塞栓症の病態解明や新たな予防・治療薬の開発につながる研究内容です。

● 本学の実施体制

本研究は、宮崎大学医学部病理学講座構造機能病態学分野が実施する単施設研究であり、以下の研究体制で実施する。

【研究責任者】

山下 篤 宮崎大学医学部 病理学講座構造機能病態学分野

2. 目的

心筋梗塞や静脈血栓症などは血栓形成により発症する循環障害です。当研究室では血栓症の病態解明を目的に、血栓の形成・成長機序を研究しています。本研究では、カテーテル治療で得られた吸引血栓の病理標本を用いて、動脈や静脈に形成される血栓の違いを明らかにすることを目的とします。血栓症の病気の仕組みや新規抗血栓療法の開発のための新しい知識を得ることを目的とする研究として実施されます。

3. 研究実施予定期間

この研究は、以下の期間において実施されます。

研究機関の長による実施許可日から2028年3月31日まで

4. 対象者

2006年1月から2024年11月に本院放射線科や循環器・腎臓内科にて深部静脈血栓症や急性心筋梗塞に対する血栓吸引治療を受けられた方が対象となります。

5. 方法

血栓の病理組織標本（ガラススライド）を作成し、血栓の細胞成分、血栓性因子（フォンウィル

ブランド因子、フィブリン、組織因子、第 XI, XII, XIII 凝固因子、細胞外 DNA、シトルリン化ヒストン、など)の分布や広がりを病理学的に解析します。診療録より臨床情報、血液検査所見、画像所見を抽出します。

● 本学における試料・情報の管理責任者 病理学講座構造機能病態学分野 山下 篤

6. 費用負担

この研究を行うにあたり、対象となる方が新たに費用を負担することは一切ありません。

7. 利益および不利益

この研究にご参加いただいた場合の利益・不利益はありません。参加を拒否された場合でも同様です。

8. 個人情報の保護

研究にあたっては、対象となる方の個人情報を容易に特定できないように、数字や記号などに置き換えて使用いたします。

9. 研究に関する情報開示について

ご希望があれば、研究計画および研究方法についての資料を閲覧することができます。ご希望がある場合は、下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。ただし、個人情報保護や研究の独創性確保に支障のない範囲内で情報開示を行います。

10. 研究資金および利益相反について

この研究に関する経費は、研究責任者が所属する講座の法人運営費及び研究費で賄われます。本研究は、企業および団体等と経済的な関与がないため、申告すべき利益相反はありません。

注1) 臨床研究における利益相反とは、研究者が当該臨床研究に関わる企業および団体等から経済的な利益(謝金、研究費、株式、医薬品・医療機器、検査・解析サービス等)の提供を受け、その利益の存在により臨床研究の結果に影響を及ぼす可能性がある状況のことをいいます。

11. 研究成果の公表

この研究で得られた研究成果を学会や医学雑誌等において発表します。この場合でも個人を特定できる情報は一切利用しません。

12. 参加拒否したい場合の連絡先

この研究に参加したくない(自分のデータを使ってほしくない)方は下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。しかしながら、データ解析後、もしくは学会等で発表後は途中辞退することができない場合もあります。

13. 疑問、質問あるいは苦情があった場合の連絡先

この研究に関して疑問、質問あるいは苦情があった場合は下記連絡先へ連絡をお願いいたします。

宮崎大学医学部病理学講座構造機能病態学分野

教授 山下 篤

電話：0985-85-2810

FAX：0985-85-7614